

もしま
(11) 百島自然海浜保全地区 (昭和 58 年 3 月 31 日指定)

○所在：尾道市百島町字小森及び字古家 ○陸域面積：0.29 ヘクタール

この海浜は、2つの砂浜と海食崖及び海食棚からなる延長約 500 メートルの海岸です。2つの砂浜は、干潮時には幅 10~30 メートルの砂地が現れ、砂浜の両端は海食棚、海食崖となっています。

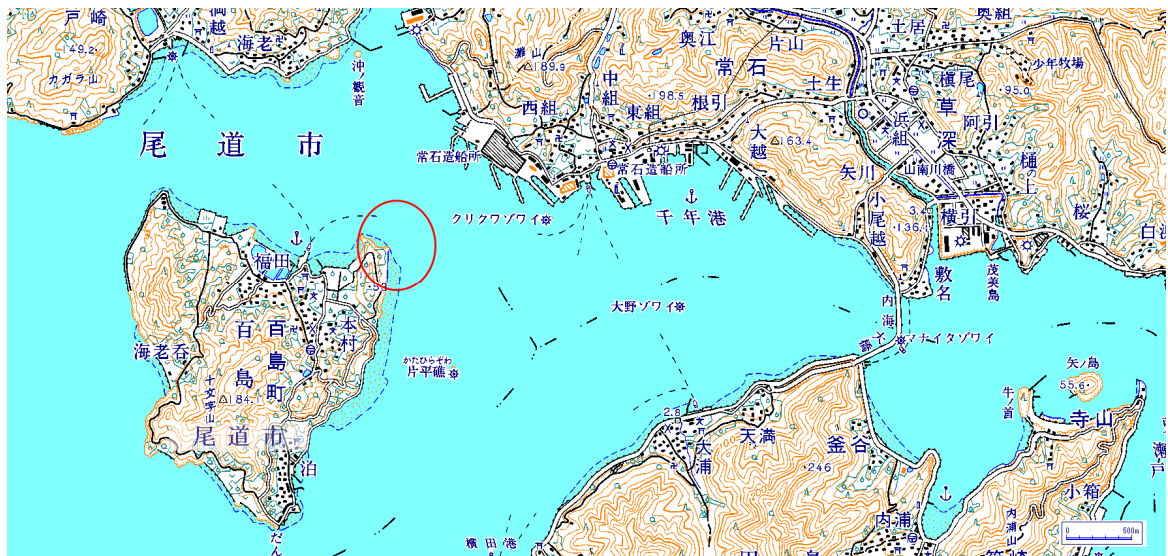
陸域の大部分は、山林とみかん畑となっており、北端の山林は、海食崖となって海に接しています。

植生は、クロマツ、ウバメガシなどが海浜と一体となってすぐれた景観を形成しています。

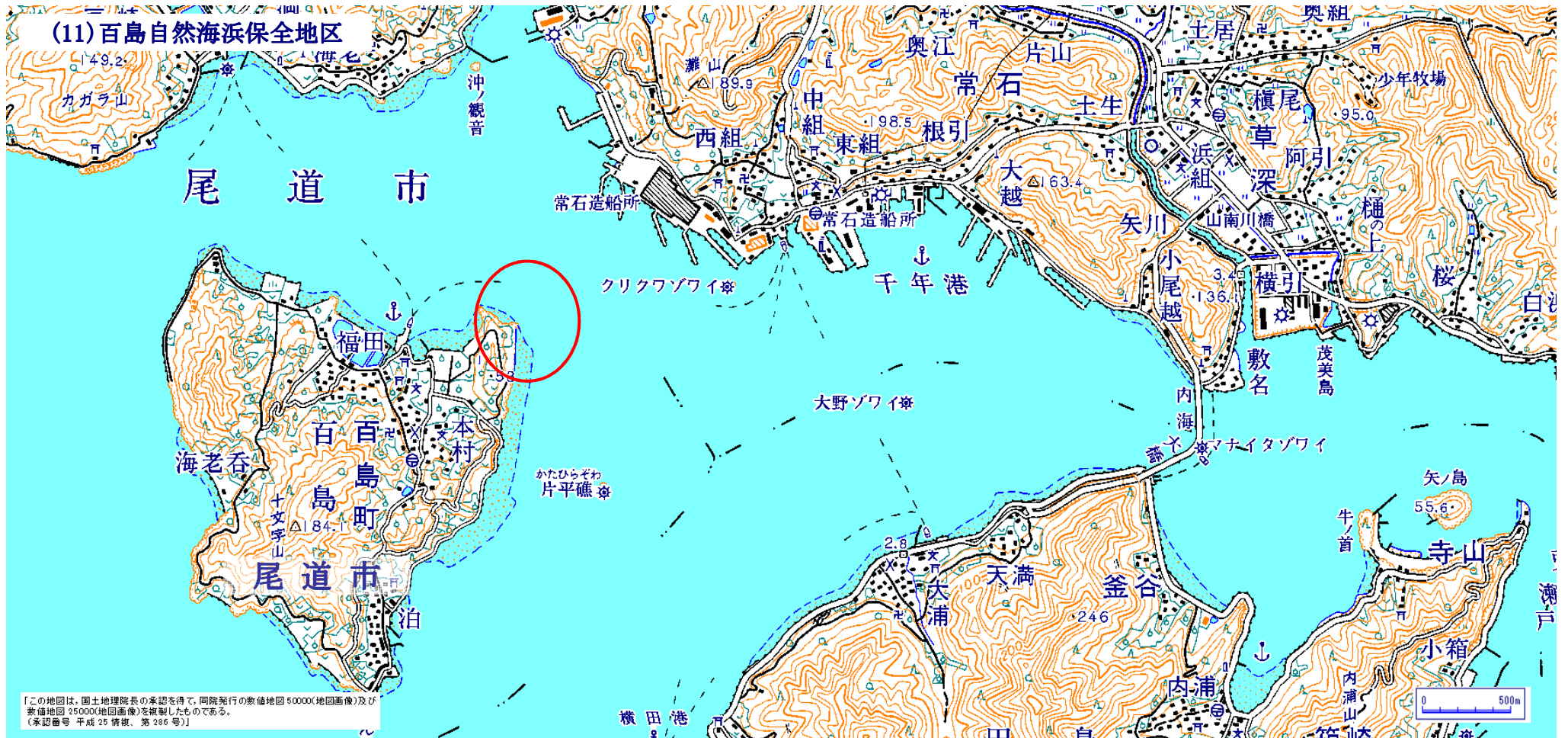
また、夏季を中心に自然を求めて、海水浴や釣りなどに利用されています。



海食崖となって海に接している山林



(11) 百島自然海浜保全地区



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成25 情規、第286号)」